

ふるさとの明日（みらい）を創る子どもの育成

根室管内 根室市校長会・教頭会（小学校12校、中学校7校）

■取組の特色

◆「ふるさとの明日を創る子ども委員会」の設置

- 根室市では、地域の未来を担う子どもたちの育成に向け、市内の学校と経済団体が組織を立ち上げ、キャリア教育の充実に向けた具体的な取組を行った。
- 高校卒業後の就業状況など、根室市の現状を把握・共有するとともに、根室市におけるキャリア教育の在り方について考える意見交換を実施した。

■実践例

◆「ふるさとの明日を創る子ども委員会」の設置

〔設置の経緯〕

◇ 根室市の現状

- 人口の激減に伴い、根室市の経済は衰退しており、夢や希望をもちにくい環境の中で、若者の志や学習意欲は停滞している。
- 市内の高校では「主体的に学ぶ意欲の低下」が指摘され、「高校レベルの学習内容を扱えない」「授業が成立しないことがある」など危機的状況にある。
- 高校を卒業して市内に就職する者については、市内経済団体関係者が「就職してから学校の続きをしているようなもの」とコメントするなど、根室の未来を担う子ども達の学力向上は、まさに「待たなし」の状況である。

◇ 小・中学校では

市内小・中学校では「なぜ勉強するのか」「学んだことをどう活用するか」を含めて、将来自立した人として生きていくために必要になる能力や態度を育成することが求められており、小・中・高等学校及び経済団体が連携して行うキャリア教育が重要となる。

《目的》
小・中・高・経済団体をつなぐ

全ての小中学校が参加

◇ 委員会組織

委員長 市内中学校長
事務局 市内中学校管理職
相談役 教育局進路相談員

◆意見交換（パネルディスカッション）の実施

職業安定所、地元の事業者、高校の進路担当者等が、それぞれの立場から子どもたちの職業に対する考え方や高校卒業後の進路の就業状況など、子どもたちの課題等について意見交換をした。

ハローワーク所長	ホテル経営者	A高等学校進路指導部長	B高等学校進路指導部長
高校卒業後の離職率は、3年以内に47.2%となっている。ステップアップとしての転職はよいが、中には「叱られたから辞める」という人もいる。その後の再就職は難しい。	就職先の実態を知らずに入ってくるので、「こんなはずじゃなかった」と言って辞めてしまう人もいる。勤労観や職業観が足りない、漢字や言葉が知らない等の姿が見られる。	子どもは宝。学ぶ環境作りが大切である。学ぶ楽しさを知り、学ぶ習慣を身に付けて欲しい。その力を付けるために教員は指導しなければならぬ。	本校では、7割が就職。地方に進学した子は戻ってこないため、この7割の子が根室の経済を支えることになる。にもかかわらず、アルファベットや九九が出来ないまま入学してくる子もいる。

〔フロアの声〕



根室市のおかれている現状がわかり、キャリア教育の重要性を実感するとともに、それぞれが連携することの必要性を感じた。

〔座談会〕



小中学校の教職員がグループに分かれて、子どもの現状についての情報交換や根室の未来を考えた改善策を語り合った。

取組の成果

- 上記の委員会の取組として「管内キャリア教育学習プログラム」（別紙）を作成し、学校におけるキャリア教育推進上の課題等を把握することができた。
- 今後は委員会が中心となり、子どものキャリア発達の必要性について保護者や経済団体と教育と意見交換する会なども予定をしている。

〔別紙〕 根室内キャリア教育学習プログラム ～各発達段階において育成すべき能力(基礎的・汎用的4能力)別課題～

能力	能力説明	学習段階			中学校	高等学校	高等学校 (親愛的探索・試行と社会的移行準備の時期)	
		幼稚園	小学生	中学生				
人間関係形成・社会形成能力	●多様な他者の考えや感情を理解し、自己の考えや感情を互いに理解し、互いの考えや感情を尊重し、互いに協力し、助け合えること。 ●自己の感情や考えを尊重し、自分の感情や考えが他人に及ぼす影響をわきまをもち、自己の感情や考えを適切に表現すること。 ●自己の感情や考えを尊重し、自分の感情や考えが他人に及ぼす影響をわきまをもち、自己の感情や考えを適切に表現すること。	●家族との関係を築きながら、生涯にわたる人間関係の基礎を築く。 ●五感を駆使して遊ぶ体験。 ●やってみようという気持ちで挑戦すること。	●自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ●身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上 ●夢や希望、あこがれられる自己イメージの獲得 ●勤務を重んじ目標に向かって努力する態度の形成	●自己理解と自己有用感の獲得 ●興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 ●進路計画の立案と暫定的選択 ●生き方や進路に関する現実的探索	●礼儀の意義を理解し、時と場合に応じた適切な言動をとる。 ●身回りの人々に、思いやりをもって接し、行動する。 ●友誼を築き理解し、互いに助け合い、高め合いながら協力し、助け合う。リーダーシップの立場を理解する。 ●多くの人々との善意や受容により、日々の生活や自分があることに感謝する。 ●相手の感情を尊重し、自分の言動が他人に及ぼす影響をわきまをもち、自己の感情や考えを適切に表現すること。 ●他者の意見を理解し、自分の考えを適切に伝達する。 ●集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努める。 ●地域の一員としての自覚をもち、ボランティア活動などに進んで取り組むこと。 ●望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、規律と節制を守り、調和のある生活をする。 ●より高い目標を掲げ、困難にも屈せず、強い意志をもって努力し続ける態度を身に付ける。 ●善悪の判断ができ、自分や身の周りの回りに対して誠実であることにも責任ある行動をとる。	●礼儀を重んじ、時と場合に応じた適切な言動をとる。 ●他者の個性や価値観を理解し、他者に対して思いやりや心をもつて接し、行動する。 ●信頼できる人間関係を築き上げ、互いの力を高め合いながら協力し、助け合う。 ●周りの人々に受容されていることに感謝するとともに、他者や社会のために役に立ちたいとする。 ●他者の価値観を的確に理解し、それを受け入れる。 ●お互いを尊重し合いながら、考えを深め、よりよい議論を導く討論が出来る。 ●集団の中で自己の果たすべき役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努める。 ●地域や社会の一員としての自覚をもち、ボランティア活動などに進んで取り組むこと。 ●望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、規律と節制を守り、調和のある生活をする。 ●より高い目標を掲げ、困難にも屈せず、強い意志をもって努力し続ける態度を身に付ける。 ●善悪の判断ができ、自分や身の周りの回りに対して誠実であることにも責任ある行動をとる。	●親愛的探索・試行と社会的移行準備の時期) ●自己理解の深化と自己受容 ●選択基準として職業観・勤労観の確立 ●将来設計の立案と社会的移行の準備 ●進路の整理吟味と試行的参加	
自己理解・自己管理能力	●自分が得意なことや得意なことを発見し、それを活かして生きていくこと。 ●自分の得意なことを活かして生きていくこと。 ●自分の得意なことを活かして生きていくこと。	●自分の得意なことを発見し、それを活かして生きていくこと。 ●自分の得意なことを活かして生きていくこと。 ●自分の得意なことを活かして生きていくこと。	●自分の得意なことを発見し、それを活かして生きていくこと。 ●自分の得意なことを活かして生きていくこと。 ●自分の得意なことを活かして生きていくこと。	●自分の得意なことを発見し、それを活かして生きていくこと。 ●自分の得意なことを活かして生きていくこと。 ●自分の得意なことを活かして生きていくこと。	●自分の得意なことを発見し、それを活かして生きていくこと。 ●自分の得意なことを活かして生きていくこと。 ●自分の得意なことを活かして生きていくこと。	●自分の得意なことを発見し、それを活かして生きていくこと。 ●自分の得意なことを活かして生きていくこと。 ●自分の得意なことを活かして生きていくこと。	●自分の得意なことを発見し、それを活かして生きていくこと。 ●自分の得意なことを活かして生きていくこと。 ●自分の得意なことを活かして生きていくこと。	
課題対応能力	●仕事や学習上の課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●仕事や学習上の課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●仕事や学習上の課題を自ら発見し、自ら解決すること。	●課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●課題を自ら発見し、自ら解決すること。	●課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●課題を自ら発見し、自ら解決すること。	●課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●課題を自ら発見し、自ら解決すること。	●課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●課題を自ら発見し、自ら解決すること。	●課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●課題を自ら発見し、自ら解決すること。	●課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●課題を自ら発見し、自ら解決すること。	●課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●課題を自ら発見し、自ら解決すること。 ●課題を自ら発見し、自ら解決すること。
キャリアプランニング能力	●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力	●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力	●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力	●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力	●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力	●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力	●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力	●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力 ●キャリアプランニング能力

9年間を見通した全体計画に基づくキャリア教育の実践

鈿路管内 厚岸町立高知小中学校

■取組の特色

◆9年間を見通した全体計画の作成

○本校では、小・中併置校の特徴を生かして、児童生徒の発達の段階を踏まえたキャリア教育の全体計画を作成し、9年間を見通した勤労観・職業観の育成を図っている。

◆校種間、教科間、家庭や地域等を「つなぐ」取組

○学校の教育活動全体を通してキャリア教育を推進するために、小学校と中学校、各教科・領域、家庭と地域を「つなぐ」諸活動を体系化し、計画的、組織的に取り組んでいる。

■実践例

◆9年間を見通した全体計画

本校では、各学年の発達の段階を踏まえるとともに、学年間や校種間の円滑な接続を図って教育活動を展開しており、キャリア教育についても、各学年段階のキャリア発達課題を踏まえた9年間を見通した全体計画を作成した。

今年度は、各教科等においてキャリア教育のねらいと関連する主な内容を明確にし、児童生徒が自分の進路や将来設計への関心を高めたり、主体的に学ぼうとする意欲の向上を図ったりすることを目指して授業づくりを行っている。

今後は、児童生徒の将来の社会的自立や職業的自立を促進するキャリア教育の視点を取り入れた授業改善を一層進めるとともに、評価の内容や方法等について研修を深め、児童生徒の変容を見取る評価の指標を明確にしていく必要がある。



◆校種間、教科間、家庭や地域等を「つなぐ」取組

児童生徒一人一人が将来に夢や希望をもって生きていく力を育成するために、小・中学校の教員が協働するための推進組織体制を整えたり、中学校の職場体験発表会に小学生が参加し、中学生の学習の成果から小学生に学ぶことや働くことの意義について考えさせる機会を位置付けたりするなど、学校全体で「つなぐ」をキーワードとしてキャリア教育を実践した。今後は保護者の理解と連携を図った取組を一層充実するよう家庭への啓発に努めていく必要がある。



【職場体験学習発表会】

総合的な学習の時間において中学生が働くことの意義を小学生に伝えます。

取組の成果

- 小学校と中学校の教員がキャリア教育の実践を通して連携する基盤がつくられ、学校の教育活動の充実を図ることができた。
- 全国学力・学習状況調査生徒質問紙調査によると、「将来の夢や目標をもっている児童生徒」の割合が、平成22年度は「どちらかといえば当てはまらない」が小学校50%、中学校100%であったが、平成23年度は小学校において、「どちらかといえば当てはまる」が100%、中学校において、「当てはまる」が75%になっており、児童生徒は、進路や将来設計について関心を高めている。

学校種間や地域・関係機関との連携を図るキャリア教育実践事例集

**すべての子どもたちに未来を
切り拓く力を育むキャリア教育**

～北海道におけるキャリア教育の一層の充実のために～

資料編

各種調査結果の概要	43
キャリア教育Q&A	45
参考資料	裏表紙



各種調査結果の概要

■平成24年度教育活動等に関する調査

■進路指導(キャリア教育を含む)(小学校は(4)(5)のみを回答する、中学校は(1)～(6)を回答する)

	小学校	中学校
(1) 平成24年度の進路指導の全体計画や学級活動における各学年の進路指導の年間計画		
① 整備されている		97.2%
② 作成中である		2.8%
(2) 平成23年度における進路にかかわる啓発的な体験等の実施状況(複数回答可)		
① 職場の見学		61.1%
② 社会人などを招へいしての講演会、懇談会		37.7%
③ 職場の体験		92.8%
(3) 平成23年度における職場の体験の内容等について((2)で③を選択した学校が回答する)		
① 体験した施設等の総数		
ア 1～3		11.8%
イ 4～6		13.0%
ウ 7～9		13.2%
エ 10～12		12.0%
オ 13～15		9.2%
カ 16以上		33.9%
(4) 平成24年度におけるキャリア教育の年間指導計画		
① 整備されている	34.5%	81.2%
② 作成中である	56.3%	18.6%
③ 作成する予定はない	9.2%	0.2%
(5) 平成23年度におけるキャリア教育のねらいを踏まえた教育活動		
① 実施状況		
ア 実施した	82.9%	100.0%
イ 実施していない	17.1%	0.0%
② 教育課程上の位置付け(①でアを選択した学校が回答する)(複数回答可)		
ア 教科	31.9%	7.4%
イ 道徳	26.8%	15.0%
ウ 特別活動	36.9%	36.2%
エ 総合的な学習の時間	62.3%	94.9%

■平成24年度 中学校における職場体験の実施状況調査

速報値

(1)各教育局別の実施状況

	平成24年度の実施状況				平成23年度の実施状況			
	公立中学校数	実施中学校数	H25より実施予定	実施率	公立中学校数	実施中学校数	H24より実施予定	実施率
空知	50	41	4	82.0%	51	46	2	90.2%
石狩	42	40	2	95.2%	42	40	2	95.2%
後志	39	37	2	94.9%	39	39		100.0%
胆振	51	51		100.0%	53	52	1	98.1%
日高	16	15	1	93.8%	17	15	2	88.2%
渡島	51	48	1	94.1%	51	48	1	94.1%
檜山	13	13		100.0%	13	13		100.0%
上川	70	70		100.0%	70	66	4	94.3%
留萌	15	15		100.0%	15	15		100.0%
宗谷	26	23	2	88.5%	26	24	2	92.3%
オホーツク	54	54		100.0%	54	51	2	94.4%
十勝	51	48	3	94.1%	52	47	4	90.4%
釧路	41	41		100.0%	43	40	3	93.0%
根室	24	24		100.0%	26	26		100.0%
合計	543	520	15	95.8%	552	522	23	94.6%

(2) 学年別・期間別実施状況

	実施期間													
	1日		2日		3日		4日		5日		6日以上		合計	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
1年	11	52	3	11	1	2	0	1	0	1	0	0	15	67
2年	222	24	150	3	36	0	5	2	5	0	0	0	418	29
3年	42	55	27	20	14	7	1	1	2	1	1	0	87	84
合計	275	131	180	34	51	9	6	4	7	2	1	0	520	180
	52.9%		34.6%		9.8%		1.2%		1.3%		0.2%			0.35

A: 職場体験を実施している主たる学年(複数の学年で実施の場合は一番日数が多い学年)の学校数
 B: 職場体験を複数の学年で実施している学校で、A欄を除く学年の学校数

(3) キャリア教育に関する独自事業を実施している市町村数

管内	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
数	4	2	3			1		3	1			3	2	2

■ 中学校の職場体験活動の費用に関する調査 概要

[市町村向け](全道市町村数179)

○職場体験の実施日数について、例えば「5日間」などの目標を中学校に示している市町村数

空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
	1	3			1						2		

○職場体験のために経費を市町村予算に計上している市町村数

空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
5	3	4	6	2	2	2	3	3	2	2	3		1

○計上している経費

市町村数

生徒の怪我や受入れ事業所での設備破損等に対する保険費用	17
職場体験活動の事前に行うマナー指導等のための外部講師招へい費	5
教員が事業所を訪問・巡回するための旅費	4
生徒の移動費用(交通費)	17
生徒の衛生検査費用(飲食業や保育所等に行く場合)	1
受入れ事業所に対する謝礼等の費用	2
活動についてまとめる報告書やレポートの作成経費	13
上記以外のその他	5

[中学校向け(抽出校78校)]

○職場体験実施のための経費として、支出した。

学校数

生徒の怪我や受入れ事業所での設備破損等に対する保険費用	12
職場体験活動の事前に行うマナー指導等のための外部講師招へい費	4
教員が事業所を訪問・巡回するための旅費	12
生徒の移動費用(交通費)	12
生徒の衛生検査費用(飲食業や保育所等に行く場合)	2
受入れ事業所に対する謝礼等の費用	3